

# 玄米貯蔵施設におけるコクゾウムシのフェロモントラップによるモニタリング

## 成果の特徴

- 穀物貯蔵倉庫でコクゾウムシを中心とした貯蔵食品害虫が発生がみられます。
- 貯蔵食品害虫を効果的に防除し、被害を防ぐためには、その発生をモニタリングする必要があります。
- フェロモントラップを用いることにより、効率的にそのモニタリングを行うことができます。

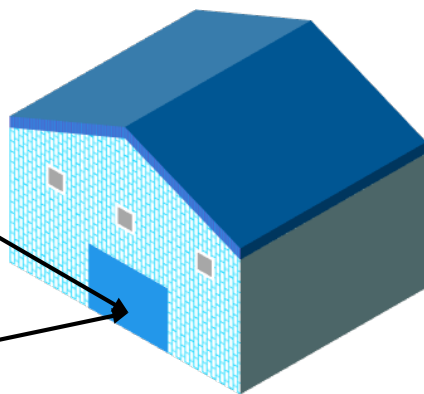
## 成果の内容



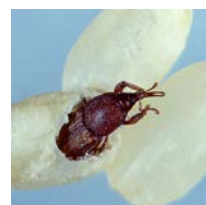
フェロモントラップ



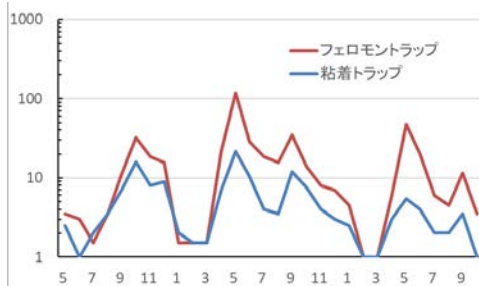
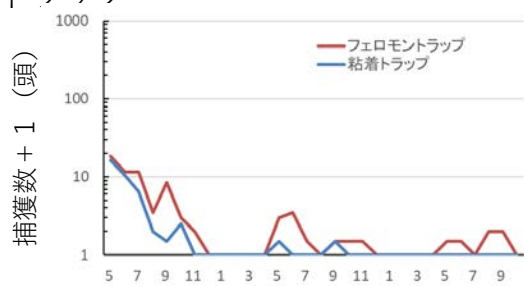
粘着トラップ



倉庫内に設置して、捕獲されるコクゾウムシ成虫数をカウント



コクゾウムシ成虫



粘着トラップよりも捕獲能力に優れるが、粘着トラップと捕獲数の変動の傾向は同じ。

## 成果の活用

本研究成果は、穀物倉庫での貯蔵食品害虫のモニタリングの際に利用が可能です。

関連論文

今村ら (2020) 穀物貯蔵低温倉庫におけるフェロモントラップによるコクゾウムシ成虫の捕獲調査. 都市有害生物管理, 10: 1-7.